



“自分で決める” “わかって動く”

を

支えるテクノロジー



東京学芸大学附属特別支援学校
齋藤大地



2015



魔法の
宿題

2016



魔法の
種

2017



魔法の
言葉

2018



魔法の
ダイアリー

2019



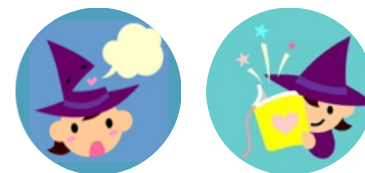
魔法の
Wallet



対象生徒 Aさん

中2・女子

知的障害



対象生徒 Bくん

中2・男子

広汎性発達障害



テクノロジーの意図的な操作

対象生徒 Aさん

対象生徒 Bくん

中2・女子

中2・男子

知的障害

広汎性発達障害



○運動能力

○認知能力

○自己決定



Cくん

高2・男子

自閉症・知的障害



視覚情報処理が強い

自発的な表出が弱い
(要求がほとんどない)

音声表出あり
(有意味語)

自己決定の弱さ
(選択の不確かさ)

ひらがな50音の
読み書きができる

指示待ちの傾向

強い偏食

4月中旬 宿泊学習の夕食決め



どっちが食べたい？

テクノロジーの意図的な操作

Cくん

高2・男子

自閉症・知的障害



○運動能力

○認知能力

△自己決定

支援のポイント

- 表出が微弱であるが故に、周囲が読み取るしかない
- 読み取りが正しい時は良いが、正しくない時にはCくん自身が強いストレスを感じる



重要!

- ★ 表出を重視したコミュニケーション支援
- ★ わかって動ける場面の設定

将来の自立した生活に向けたQOLの向上

支援のポイント

表出を重視したコミュニケーション支援

↓
他者に自分の意思を正確に伝える

↓
“自分で決める” 経験

わかって動ける場面を設定する

↓
生活の中において、自ら動ける場面を増やす

↓
“わかって動く” 経験

将来の自立した生活に向けたQOLの向上



1回目：焼き魚定食 選択

2回目：ラーメン 選択

* 2回とも教員の日を見ながら
不安気な様子で選択



- 何を聞かれているのか分からない
→ 好きなものを選ぶの？ 嫌いなものを選ぶの？
- 選んだ結果どうなるのか予想がつかない
→ 先生が求める正解は何なの？
- 写真が何を指しているのか分からない
→ いつも食べているラーメンじゃない

“正しく” 選ぶ／意思を相手に伝える

■ 何を聞かれているのか分からない

→何を聞かれているのかが、**文脈から理解しやすい場面**

■ 選んだ結果どうなるのか予想がつかない

→選んだ結果を、**すぐにフィードバックできる場面**

■ 写真が何を指しているのか分からない

→文字やイラストよりは、**写真の方が反応が良好**



給食場面における指導からスタート

これまでの学校における食事場面の様子 1



給食

■ 中学部まで

- 白米は温めれば食べる
- パンは温めなくても食べる
- おかずは温めても食べないものもある
- 何も食べない日もある



■ 高等部 1 年生

- 白米はおひつに入れば食べる
- パンは温めなくても食べる
- 「どれを食べる」と聞くと、指差して選択するが、選択したものを食べない時もある

これまでの学校における食事場面の様子2



校外学習

■ 中学部まで

- 保温効果のある弁当箱であれば食べる
- 宿泊学習での食事は一切食べない
- 外食の時はラーメンのみ食べる

■ 高等部1年生

- 宿泊学習で白米は食べた



現場実習

■ 高等部1年生

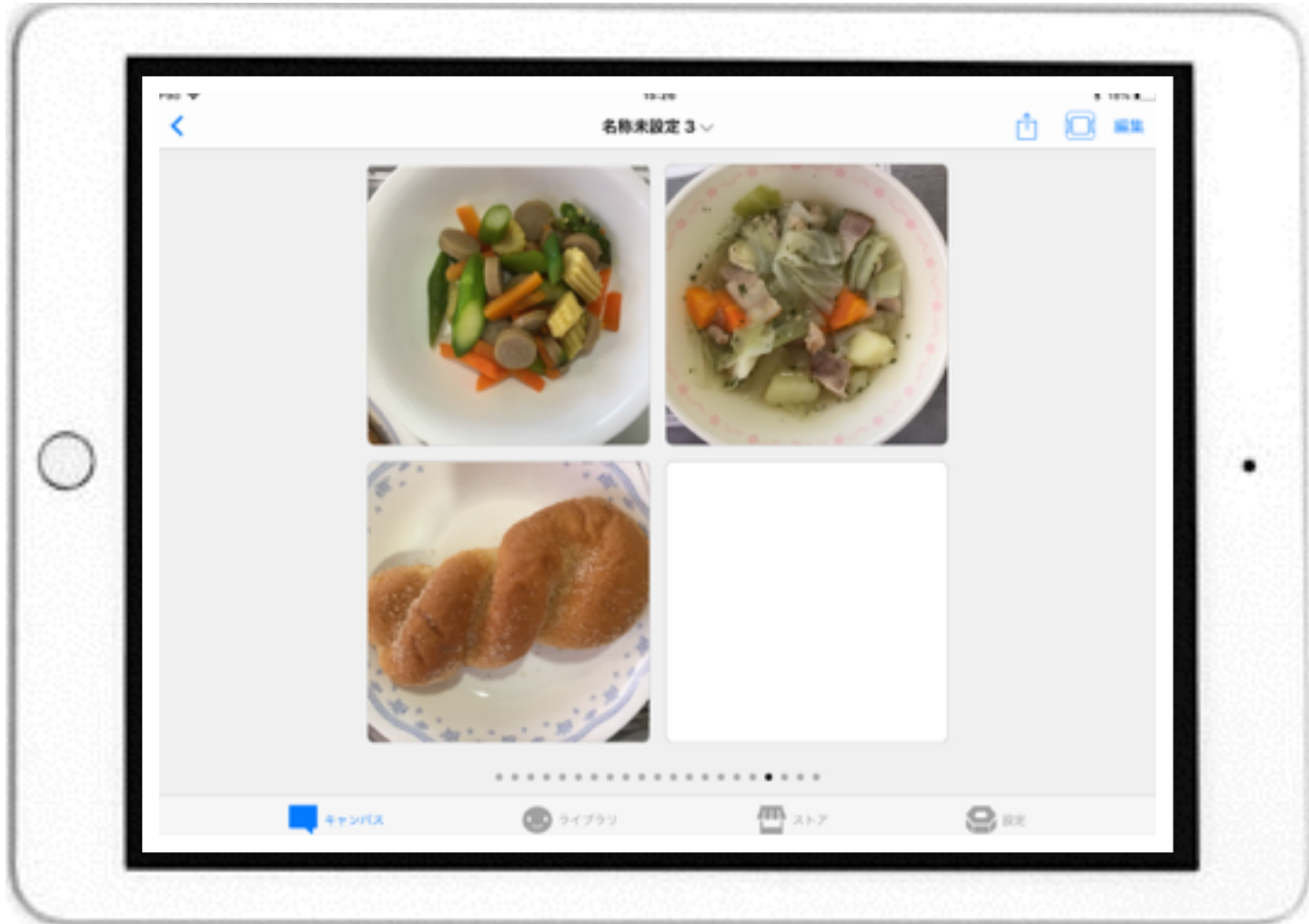
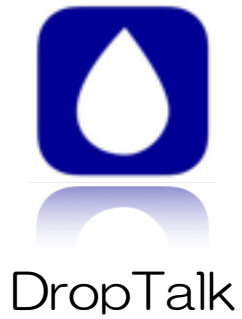
- 弁当をレンジでチンして食べた

■ 高等部2年生

- 実習先での弁当は絶対食べない!



給食場面における指導

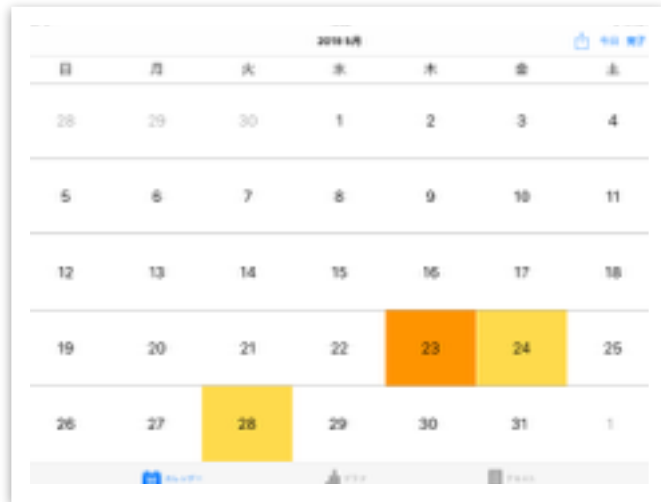


好きなもの・嫌いなものが明確な日から
指導をスタート

“選択すること”の意味の理解

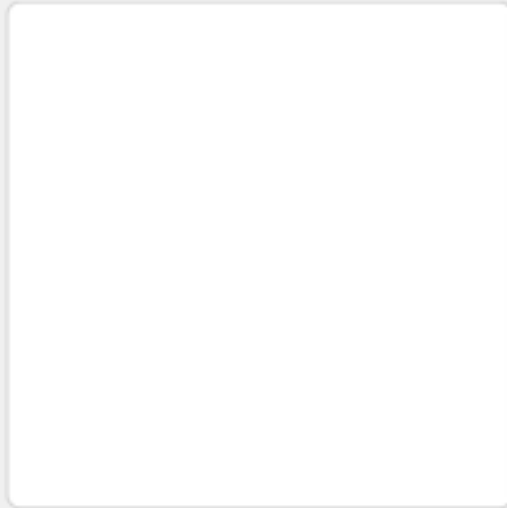


DropTalk



5～7月の指導日（23日間）のうち、自ら選択したものを自主的に食べた日数は21日であった

何も選択しなかったメニュー



お断りします

「選択しない」という行為で自分の意思を表出！

「いらないボタン」



バツ印が「いらないボタン」として機能

現場実習にて（6月末）

担任・母は絶対食べないと思っていた実習先の給食

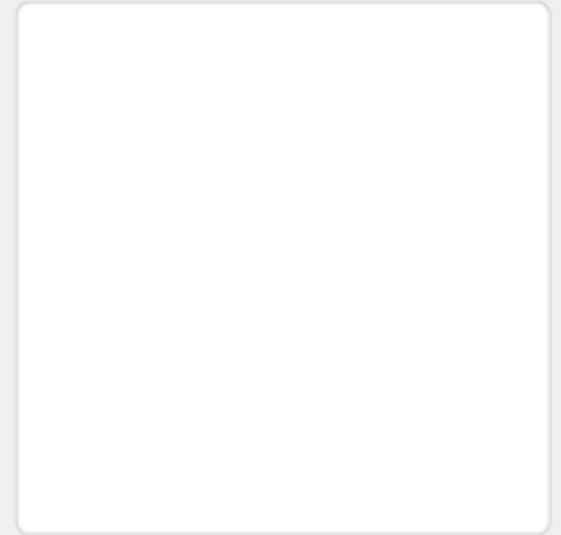


初めて食べた！！（白米）

「選んで食べる」（自己決定）経験の積み重ね



7月中旬 校外学習の昼食決め



フードコートで何が食べたい？

7月中旬 校外学習の昼食時

初めて行く場所（フードコート）→ラーメン屋に直行

グループの教員に「ラーメン」（音声）と伝える

自発的な姿



食べることに対する意欲の向上

9～12月の指導日（42日間）のうち、全指導日において選択したものを食べた！



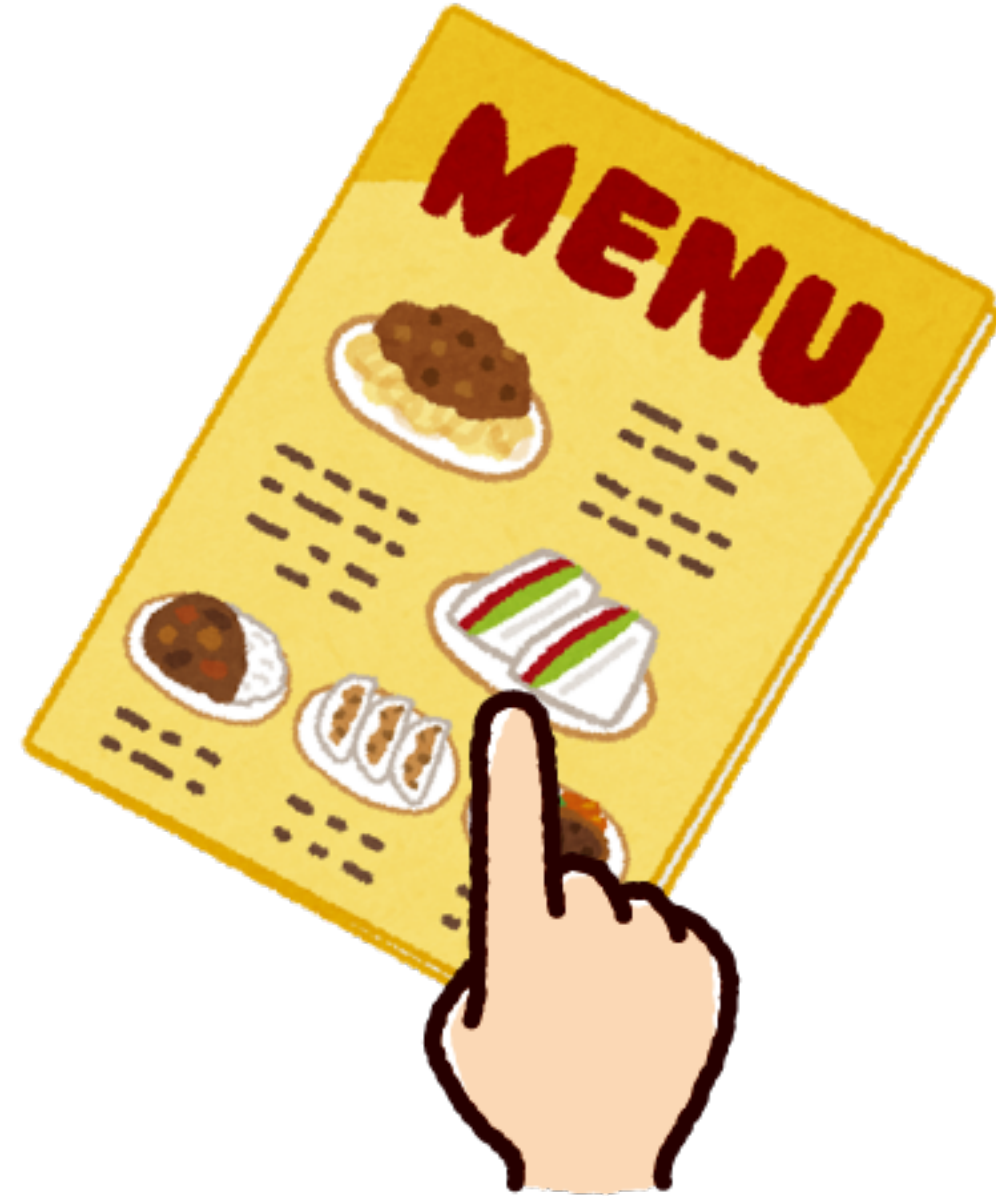
食べないメニューも食べようとする姿が！

現場実習にて（11月）

初めて行く実習先

メニューを見て
「パン」を指差す！

自分が食べれるものを
選択する姿



指差したパンを食べるCくん



おかずを初めて食べた！！



自分で食べたいものを決める→食に対するこだわりの軽減

進路面談（7月）における選択の様子



2つの仕事の動画をじっくり見る

明らかに取り組みのよかった
「分解」の仕事を自信を持って選択！

これまでCの思いや考えなどは、まわりが感じるしかなかったもので、Cがやりたい仕事を探すのはすごい大変そうだなと思っていました。でも、こんな風に自分でちゃんと選んでいる姿にびっくりしたし、すごいうれしかったです。

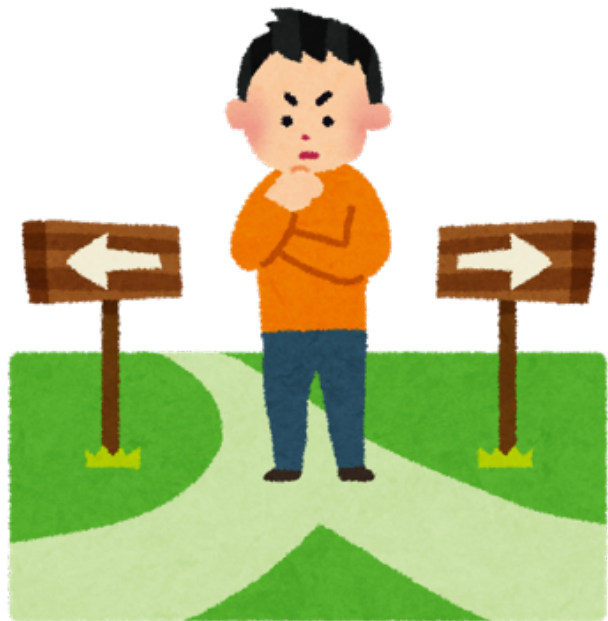


進路面談（12月）における選択の様子



2箇所の実習先 & 複数の仕事 → 複雑な選択

進路面談（12月）における選択の様子



母親の考えとは異なる
実習先を選択！

これまでだったら、Cさんの
選択は疑わしかったため、母
親もあまりCさんが選んだも
のを重視してこなかった…。

Cが〇〇（選択した実習先）を選んだのなら、悩みますが
そちらを第一希望で考えていきます。私は△△（選択しな
かった実習先）の方がCにいらっしゃると思っていましたが、
本人に聞いてみないとわからないものですね！



Cくんの変化→周囲の変化

【学校生活の変化】

→様々な授業で“選択する”場面の増加

【家庭生活の変化】

→休日（外出時）の昼食を本人が選択

Cくんの変化が確実に周囲に伝わり
Cくん自身にとってよりよい環境が整っていった！

支援のポイント

表出を重視したコミュニケーション支援



他者に自分の意思を正確に伝える



“自分で決める” 経験

わかって動ける場面を設定する



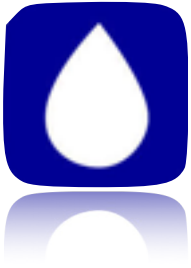
生活の中において、自ら動ける場面を増やす



“わかって動く” 経験

将来の自立した生活に向けたQOLの向上

見通し→わかって動ける場面



イラストや音声を含んだスケジュールが有効！

方法の提示→わかって動ける場面



聴覚的な情報が有効！

タブレットは何を支えたのか？



聴覚的な情報
視覚的な情報



行動開始のきっかけ
安心材料

秋の現場実習にて



やり方を理解し、一人で取り組み続ける姿

歯科指導（12月）にて



5年間で初めて染め出しができた！→安心材料

支援のポイント

表出を重視したコミュニケーション支援



他者に自分の意思を正確に伝える



“自分で決める” 経験

わかって動ける場面を設定する



生活の中において、自ら動ける場面を増やす



“わかって動く” 経験

将来の自立した生活に向けたQOLの向上

魔法のwallet

障害のある方々にこそ最新のテクノロジーを！



生活の利便性の大幅な向上（QOLの向上）



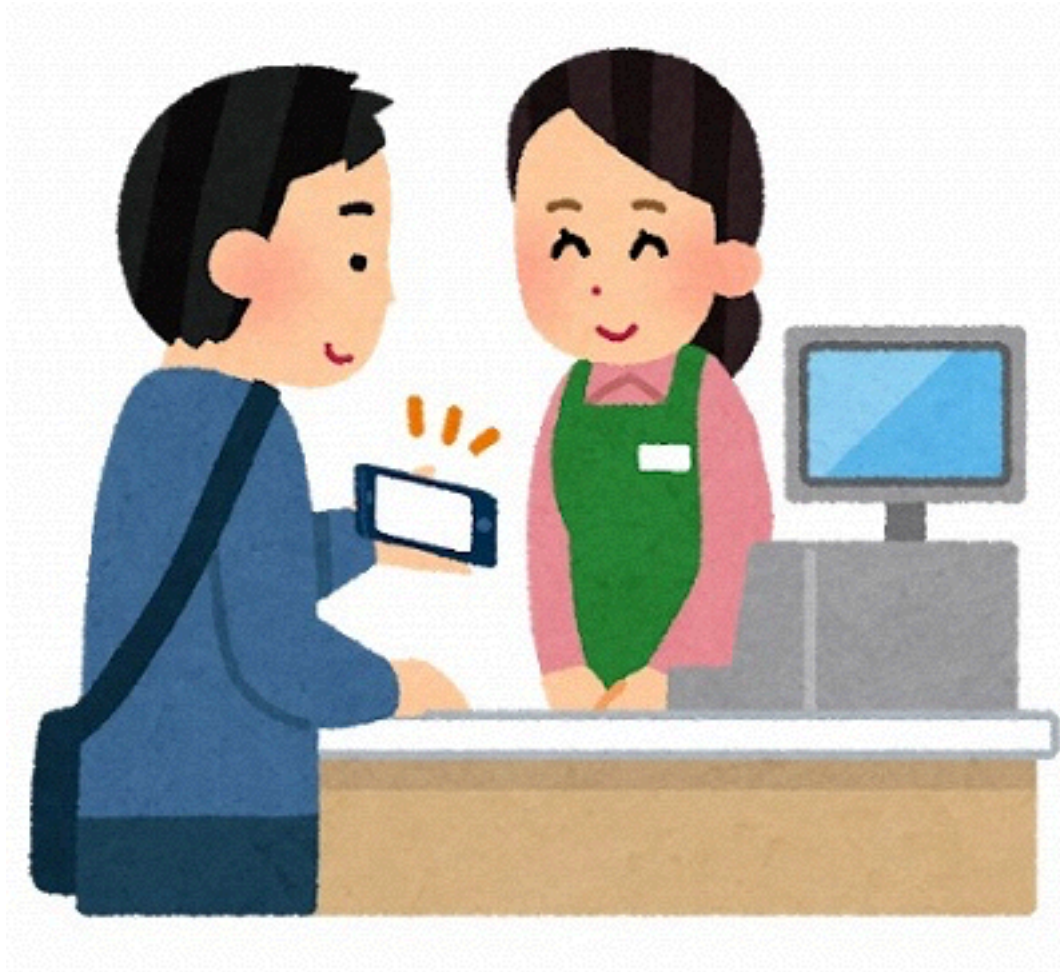
Cくんの買い物



- 物を買うにはお金が必要
- お金の種類はわからない
- 3桁以上の数の大小はわからない
- お金を出して何かを買うことは学校以外ではない

買い物スキルが低い&買い物の経験が圧倒的に少ない！

テクノロジーを活用すれば…



ICカードで一人で買い物ができる！

テクノロジーの意図的な操作はできているか？

運動能力 認知能力 自己決定



できる限り、実態に応じた
理解を求めていく必要があるのでは？

魔法のwallet



紙幣・硬貨



カード



電子決済

学校と社会とのギャップ

学校で何を教えていけば良いのか？

ご静聴ありがとうございました

